

ヘアドネーションしてきたよ

小三

わたしは、小学校二年生までかみを長くしていました。でも、去年の九月に、思い切っただかみを短く切りました。すずしくしたかったからです。後ろから見ると男の子のようだと友だちに言われました。わたしは、「そうなんだ。やっぱりね。」と思いました。でもあせをかいでもすぐかわくのでらくちんでした。

長かったわたしのかみの毛は、三十七センチメートルい上あったので、「ヘアドネーション」にきふしました。

「ヘアドネーション」とは、小にがんや生まれつきかみの毛がない子、事こでか

みの毛をうしなった子のために、きふされたかみの毛でかつらを作り、ただでプレゼントする活動のことです。

わたしは、お母さんからこのことを聞き、きょう力しようと思いました。かみの毛のことでこまっている子どもたちに、わたしのかみの毛がとどいて、役に立ててもらえたらうれしいと思ったからです。

わたしは、今までかみの毛のことでこまっている子たちについて考えたことがあります。でも「ヘアドネーション」をして、その子たちがいやな気持ちになっっていることが、少し分かりました。わたしは子どもなので、こまっている人たちの役に立てることがあまりありません。でも、自分にできることで、きょう力できたらうれしいです。

この前、お母さんも長かったかみの毛を切って「ヘアドネーション」しました。お母さんは、二度目です。お母さんは、「今回も、きょう力できて、えがおで外に出られる人がふえてうれしいな。」と言っていました。

わたしは、お母さんがわたしに「ヘアドネーション」のことを教えてくれたように、わたしの作文を読んで、かみの毛の長い人できょう力してくれる人がふえたらうれしいなと思います。「ヘアドネーション」のことを、みんなに知ってもらいたいです。